



原田 悦子  
(よねしろ会)

「事業仕分け」

**質** 国の「事業仕分け」で、電源立地地域対策交付金など本市への影響と対応、対策はどうか。

**答** 事業仕分けのうち本市に関係あるものは、24事業ある。具体的な削減率が示されていないものがあることや、その結果がすべて国の予算に反映されるわけではないため、現時点ではどのくらい影響があるのかわからないが、情報収集に努め、住民サービスに支障を来たすことがないよう適切に対応したい。

2010年産米生産数量目標

**質** 農水省が発表した秋田県の2010年産米は、前年比5、290トン減の46万1870トンである。本市への配分と対策はどのように考えているのか。

**答** 県への配分数量が大きく削減されたことから、市への配分も減となることが予想される。県では米の需要の拡大のため、めんこいなやひとめぼれ等の中食・外食用米への転換を推進している。市もJAや市水田農業推進協議会と連携し、当年産よりも16トン増加の70トンをあきたこまちから品種転換する予定である。

その他の質問事項

- ・市長選への対応
- ・二ツ井伝承ホールを活用
- ・能代産業廃棄物処理センター



針金 勝彦  
(平政会)

休学措置による児童生徒への影響

**質** 毎日のように学級・学年・学校閉鎖の情報が新聞等に掲載され授業日数の差異が発生しているが、子供たちにとってどのような影響があるのか。また、回復するための手段の考え方は。

**答** 学校行事ができない、学習の進度に差が出るなどの影響がある。各校では一週間の中で授業時数をふやしたり、授業以外の裁量の時間を調整して授業時数を確保したりするほか、冬季休業中に授業を実施し回復を考えている学校もある。各校の実情に応じたより適切な方法で対応し授業時数の回復に努めることとしている。

向能代地区の整備

**質** 現在、現道拡幅などで整備が進んでいるが、まだ半分以上が道幅も狭く、昔からの現場施工のU字溝もあり児童生徒や高齢者にとって危険な道路である。今後の整備スケジュールは。

**答** 現在、能代橋北側交差点付近の拡幅や旧向能代小学校跡地内の新設道路などの測量及び設計を行っており、今後はこれら路線の建物等移転補償、用地買収、整備工事を進めるほか、未着手の路線も事業化の検討を進めたい。ローソン向能代店から染屋の坂の手前までの側溝は来年度から順次改修する予定としている。

その他の質問事項

- ・新年度予算編成
- ・児童生徒への予防に向けた取り組み
- ・ワクチン接種



安岡 明雄  
(市民の声)

事業仕分けの実施に向け再提案する

**質** これまで国民に見えない所での予算編成に対し、公開のもとでの事業仕分けに高い評価がある。地域主権確立のためには市民の納得が不可欠であり、事業仕分けを再提案する。

**答** 事業仕分けは、そもそも地方自治体を取り組んできたもの。財政が厳しく、思い切った事業の縮小、廃止も考える必要がある本市の現状からすれば、取り組みを検討する意義は大きい。総合計画の政策達成度に対するまちづくり評価を実施しており、しばらくはこれを継続しながら、事業仕分けについて研究していきたい。

条例改正により中心市街地活性化を図る

**質** 本市計画の重点地域の耐火構造物に対する固定資産税を、5年間軽減する特例の提案だが、改正により民間投資を誘導することは、計画推進に有効である。実施への考えを伺う。

**答** 他市の状況では現行の軽減制度を適用し、さらに独自の制度も適用しているケースもあり、適用内容によってはより有効な手段になり得るものと考えている。今後、中心市街地活性化計画にある建物構想や、その他の民間の計画が具体化した段階で、御提案の優遇策について対応できるよう検討したいと考えている。

その他の質問事項

- ・市民が納得できる予算づくり
- ・まちづくりの根幹としての土地利用のあり方
- ・市民活動支援センター